

京都の扇子屋が提案する扇面御朱印帳 「eN」(えん)

～京都の扇子文化と技術を未来へつなぐ。「縁」「円」が繋がる扇面御朱印帳型ノート～
商品化に向けクラウドファンディングにて支援を募集します。

扇や半げしょう(京都府京都市東山区)は、京都の扇子文化と技術を未来へつなぐために

新商品 扇面御朱印帳「eN」を考案しました。

応援購入サービス「Makuake」にて2021年7月8日から支援を募集いたします。

<https://www.makuake.com/project/en/>



「eN」の3つの特徴

1. 京都の扇子工房の伝統工芸職人たちが作り上げた新たなプロダクト。
2. 神社仏閣めぐりだけじゃない！ 使い方はあなた次第。
3. 縁起がいい末広りの形。豊富なデザイン。大切な人に送るギフトにも。

「eN」誕生の背景

京扇子はこれまで、京都に限らず各地の様々な人たちに親しまれてきた伝統工芸品です。涼を取るためのものとしてはもちろん、茶道や舞踊などの道具としても使われてきました。しかし、長期にわたるコロナ禍での観光客の減少や舞台・お稽古の中止によってその需要は減少する一方です。

また、近年では職人の高齢化が進み後継者不足と伝統技術の継承が大きな問題となっています。

京扇子づくりの現状やその素晴らしい技術をもっと多くの人に知ってほしい。

伝統工芸をもっと身近に感じてほしい。

扇子づくりの技術が途切れることなく未来に繋がっていくように。

そんな思いから生まれた今までにない形の扇面御朱印帳型ノート「eN」です。



蛇腹に折られた「eN」は、広げると丸くつながって円形になります。

昔から、形が丸いものは「縁起が良い」といわれています。

「円」＝「ご縁」をイメージしています。

扇面紙を作る工房と扇面の加飾を行う工房が手を取り合って扇子づくりの技術を詰め込んだ本プロダクト。

未来に繋がる新商品として世に送り出せることを願っております。

「eN」の使い方・利用シーン

・御朱印帳

特別感のある御朱印帳としてお使いいただけます。御朱印帳としてお使いの場合は、直接書いていただくことも、また書き置きのご朱印を貼ることもできる大きさです。

・アルバム ・スケッチブック ・おめでたい席での芳名帳

思い出の写真を貼ったり、子供の成長を記したりと記念の一冊が作れます。

日々の気づきや、心打たれたことを書き留めておくことができ、

ゲストブックとして写真を貼ったり、寄せ書きをしたりと思い出を残せる一冊になります。

あなただけの使い方を見つけてください。

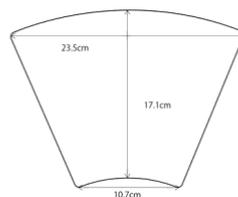
仕様

・サイズ／(約)横 23.5cm x 縦 17.1cm (図参照)

・中身／奉書紙 12山(裏表合わせて45面あります)

・素材／紙

ギフトにもお使いいただける専用の紙箱に入ります。



【お客様からのお問い合わせ先】

扇や半げしょう

TEL:075-525-6210 (平日10時30分から17時30分)

e-mail: info@hangesho.com

HP: <https://hangesho.com>

【本リリースに関する報道お問い合わせ先】

扇や半げしょう 担当 吉尾

〒605-0836 京都市東山区本町通五条上る森下町535

TEL:075-525-6210

e-mail: info@hangesho.com

HP: <https://hangesho.com>

